

幼保連携型認定こども園 五字ヶ丘幼稚園 ご紹介

五字ヶ丘幼稚園からのメッセージ

昭和38年に開園、翌年今の姫路市西今宿に移転してから約60年になります。平成27年度より、幼保連携型認定こども園 五字ヶ丘幼稚園になりました。円満な人格形成を願い、子どもたちを心身すこやかに、社会性豊かに育てることを目的としています。開園以来、当園では絵画製作活動をたいせつにしてきました。総幼研への加盟は平成6年。以後、子ども達の心身を健全にはぐくむために、絵画製作と総幼研教育を保育の両輪としてまいりました。ここ1、2年は、戸外遊びの充実にも取り組んでいます。公開保育当日は、ある園のある一日として、飾らないありのままの日常の様子を見ていただけたらと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

園長 高橋秀信



保育の見所

総幼研教育とならび、五字ヶ丘幼稚園の代名詞になっているのは絵画製作です。この取り組みは、開園の際に子ども美術教育の先駆者である故・曾根靖雅先生との出会いからはじまっています。以来、55年間、曾根先生の教えを土台に保育の先生方が創意工夫を尽くしながら、独自の保育造形教育をすすめてられました。

総幼研に加盟されて以降は、総幼研活動ではぐくんだ身体性や習慣を土台に、絵画製作の教育活動をますます発展させていच्छいます。

絵画製作活動と総幼研教育はどのような相乗効果をあげているのか。ぜひ、その目で確認ください。

活動のポイント

★絵画製作のねらいの根幹は、「お話」を聞くこと

…「お話」とは、作品のテーマのこと。題名やタイトルとは呼ばずに「お話」と呼んでいます。それは、その作品についてタイトルを聞くより、「お話を教えて」と聞くとその子なりのストーリーが語られるからです。それは、その子だけの物語であり、担任との一対一の重要なコミュニケーションとなります。

★「メトーデ表」に基づいた目標設定

…絵画製作時に子どもたちが首から下げているのが、曾根靖雅先生が提唱されたメトーデ表。メトーデ表とは、絵画製作に取り組む際の評価の観点としつけの項目が書かれたものです。学年ごとに目標を設定された項目が掲載されています。

